

住民が担い手になった

杉並のまちづくり・公共施設づくりから学ぶ



公共空間のリノベーションを紐とく

「杉並区立中央図書館」

撮影：川澄・小林研二写真事務所

○ 現地見学

2024年10月28日(月)

13:00 ~ 15:00 (12:45 図書館エントランス集合)

定員 30 名 (先着順) 参加費：無料



○ 座談会

2024年11月2日(土) 14:00 ~ 16:50

阿佐谷地域区民センター 第4・第5集会室 (3階) 定員 60 名

参加費：500 円 終了後同会場にて懇親会 参加費：1500 円

CPD 2 単位申請中 ※どなたでもご参加いただけます

住民が担い手になった 杉並のまちづくり・公共施設づくりから学ぶ

杉並区では現在、まちづくり・道路整備・施設再編などの進め方について、新たに検討が行われ、区民との対話集会を開き、区民意見を反映させる仕組みを模索中です。過去を振り返れば、杉並区では非常に先進的なまちづくりや施設計画の事例が試みられ、実現されてきました。今後の方策を考える上でも、それらの事例をプロセスも含めて丁寧に振り返り、これまで住民が担い手になって実現されてきた経験から、現在のまちづくりや公共施設づくりに活かすことができるようなプロセスや方法を学ぶことが大切なのではないでしょうか。杉並建築会では2023年度から2024年度にかけて、3事例を取り上げ、区民と共に現地見学や意見交換・ワークショップを行い、住民が担い手となった杉並のまちづくり、公共施設づくりの方法やプロセスについて話し合い、これからのまちづくり、公共施設づくりの契機へ繋げたいと考えています。

第1回 蚕糸試験場跡地周辺と杉十小学校

杉並で全国初の防災公園と一体として実現した開かれた小学校の計画

第2回 中高生がつくるサードプレイス「ゆう杉並」

居場所づくりとして企画から運営にも中高生が関わる全国初の事例

第3回 公共空間のリノベーションを紐とく「杉並区立中央図書館」

建築家黒川紀章の設計による図書館が、利用者の意見なども取り入れ、設計者選定プロポーザルを経て新たな空間に生まれ変わるまでのプロセスを振り返り、これからの公共施設リノベーションのヒントを探る。

第4回 住民が担い手になったまちづくり 公共施設づくりのこれから（仮）

2025年1月11日（土） 14:00～17:00（予定）

阿佐谷地域区民センター

第1回から第3回の内容をから、行政・専門家・市民のより良い関係構築の方法を考える

座談会 プログラム

あいさつ 村上美奈子 杉並建築会

PART 1

全面改修への道を拓いた区民と議員の活動

「杉並区図書館サービス基本方針」を育んだ区民と、区民意見を取り入れた全面改修へと尽力した元区議会議員から話を聞く。

中島眞理 ポプラ文庫 杉並文庫・サークル連絡会
元図書館協議会委員

山本あけみ 元杉並区議会議員

聞き手：林美樹 杉並建築会

PART 2

「杉並区立中央図書館改修基本計画」ができるまで

全面改修が決まり、ワークショップ、アンケートなどで幅広く区民意見をあつめ、基本計画がまとめられた。当時の区担当職員、協力した黒川事務所担当者、ワークショップに参加した区民から話を聞く。

岡本智彦 杉並区元担当職員

斎藤織江 黒川紀章建築都市設計事務所

西元久美 ジルベルト文庫 杉並文庫・サークル連絡会

聞き手：山田清 杉並建築会

PART 3

名建築を活かしたリノベーションの手法とは？

プロポーザルにより選定された設計者が、黒川紀章の建築にどう向き合い、区で策定した基本計画をどう発展させたのか。建築とランドスケープの担当者から話を聞く。

櫻井成行 日総建

戸田知佐 オンサイト計画設計事務所

聞き手：利光収 杉並建築会

まとめ 大倉靖彦 杉並建築会

杉並区立中央図書館

杉並区荻窪 3-40-23 03-3391-5754

・JR中央線、地下鉄丸ノ内線「荻窪駅」南口から徒歩10分

阿佐谷地域区民センター

杉並区阿佐谷北 1-1-1 03-5356-9501

・JR中央線「阿佐ヶ谷駅」から徒歩5分

【申込み方法】 申込フォームにて必要事項をご記入の上お申し込みください

QRコードからも申し込みができます

【申込フォーム】 <https://forms.gle/Z1Q5sQ2fBbifVyTT8>

【問い合わせ】 080-5485-9454 杉並建築会（石井）

e-mail: sugi_kenchiku@kkoubou.sakura.ne.jp

